



# 「JICA食と農の協働プラットフォーム」 (JiPFA)

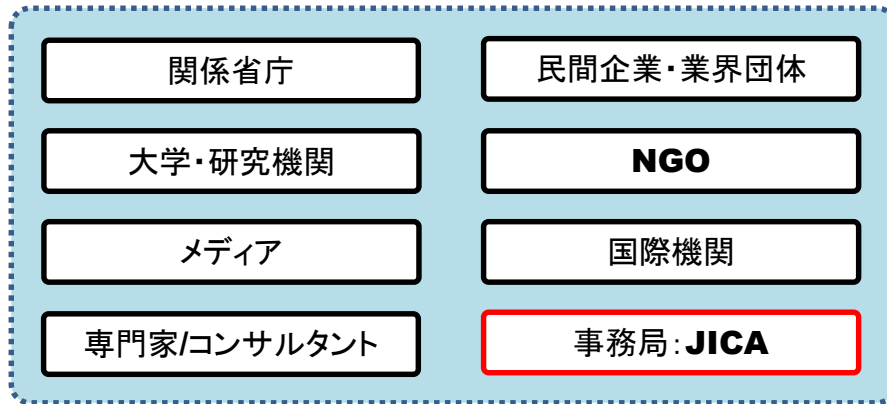
## 畜産・家畜衛生 第一回分科会 2019年度分科会活動計画について

**JICA農村開発部  
第2チーム**

# 1. JICA 食と農の協働プラットフォーム (JiPFA) とは？

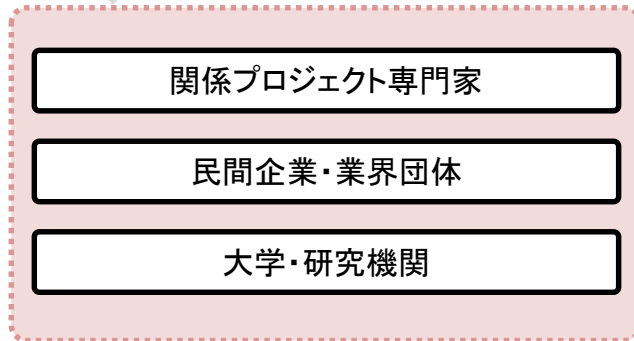
## JICA 食と農の協働プラットフォーム

プラットフォームレベル



JICAが重点的に取り組んでいる／参加団体様のご要望が高い対象地域・国、分野・課題単位の分科会を設置

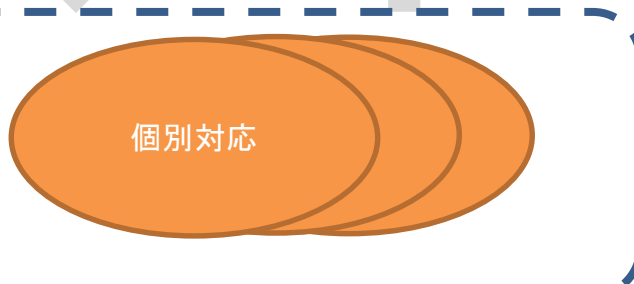
分科会レベル



協働事業組成  
JICA事業への参画

報告  
経験共有

個別事業レベル



### JiPFA設立の目的

- 「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて、国内の産官学関係者が途上国及び日本の課題解決のための活動を促進するために、ゆるやかなネットワーク(プラットフォーム)を設置するもの。
- 情報や経験の共有等を通じて、同ネットワークの中から、様々な『共同活動』を産み出すことを目標とする。

### <主な活動内容>

- ①分科会(情報共有・意見交換)開催(適宜)  
(JICA TV会議システムを活用し、地方からの参加可)
- ②各種勉強会、イベント等の開催
- ③共同活動(共同研究・技術開発、民間企業等の海外展開、途上国及び日本の人材育成等)の企画・支援、など

## 2. JIPFA畜産・家畜衛生分科会とは？

- 目的:

- 途上国において、畜産振興、家畜衛生強化、獣医人材育成、One Health推進等に係る課題と、同課題解決に貢献可能な日本の企業、大学等が有する技術・ノウハウとのマッチング促進
- 同課題に取り組む人材育成(途上国及び日本)及びネットワーク構築の促進

⇒畜産振興・家畜衛生強化を通じたSDGsへの貢献

⇒関連本邦企業等の海外への事業展開の促進

案件形成促進 + 関係者人材育成 + ネットワーク構築

- 主な活動内容:

- 畜産振興・家畜衛生強化等に係る課題、産官学関係者の取組(含:JICAの協力方針・計画)に関する情報共有、意見交換
- 関係者間の協働に向けた具体的な取組みの検討

- 実施体制:

- 事務局: JICA農村開発部 農業・農村開発第一グループ 第2チーム  
(担当: 渡辺)

## JICA事業における産官学連携の可能性検討

1) 本邦の畜産・家畜衛生関連民間企業のビジネス進出促進の足掛かりとなり得るようなJICA 事業及びODA スキームの提案

例) モンゴルバリューチェーン(VC) マスタープラン(MP) 調査

2) 課題別研修における大学、民間企業との連携(マッチング場の提供、講師依頼等)

- ①畜産開発計画担当行政官を対象とした政策立案実施管理能力の向上(JICA東北)／2014～
- ②バリューチェーンの整備を通じた農村振興(農畜産物の付加価値向上)(JICA帯広)／2016～
- ③地域資源に基づいた乳肉生産のための牛の飼養管理(JICA帯広)／2012～
- ④乳肉卵の衛生管理・品質管理の向上を通じた地域産業の振興(JICA帯広)／2016～
- ⑤家畜疾病診断基礎技術向上(JICA筑波)／2020.未定～
- ⑥人獣共通感染症対策(寄生虫病含む)研究者育成(JICA帯広)／2020.未定～

開催頻度：年1～2回程度

- 第1回分科会：2019年7月30日(火)
- 第2回分科会：2020年上半期予定
  - モンゴルVC MP調査の進捗報告他

本分科会で意見交換、情報共有したいテーマ、要望等がございましたら、事務局までご連絡ください！

➤ 渡辺：[Watanabe.Taketoshi@jica.go.jp](mailto:Watanabe.Taketoshi@jica.go.jp)